

地域創造学類カリキュラムマップ(地域マネジメントプログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
地域マネジメントプログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。		
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。=公共社会、地域活性化	
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。=市民自治、地域居住、地域産業・文化・経済、生活基盤	
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。=地域協働	
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネート能力を身につけている。	
	思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。	
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。		
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。		

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	知識・理解		学習成果		思考・判断	関心・意欲	態度
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法			
35E01	ソーシャル・ビジネス論	ソーシャル・ビジネスに関する理論と実際を学ぶ。	ソーシャル・ビジネス、公共性、経営、経済	2	2年							
35E02	経済地理学	都市や農山漁村の成立要因を、経済地理学の理論を踏まえて理解することができる。	農業立地論、工業立地論、中心地論、都市、農山漁村、開発、国土利用、地域構造、中心・周辺、地域問題	2	2年		◎		○	◎		
35E03	比較地域経済論1	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 足下の地域の実態から経済社会の問題を解明する分析視角を養う。	グローバル化のもとでの諸地域経済の現状、課題、発展戦略	1	2年	○	◎	○	○	○		
35E04	比較地域経済論2	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 足下の地域の実態から経済社会の問題を解明する分析視角を養う。	グローバル化のもとでの諸地域経済の現状、課題、発展戦略	1	2年	○	◎	○	○	○		
35E05	文化と消費社会	消費社会における文化の位置づけや、グローバル経済下の地方経済と社会文化のあり方を具体的事例を通して学び、考察する。	消費社会論、グローバル経済、文化、文化の流用、流行、権利、地方、民族文化、表象	1	2年	○	◎			◎	○	
35E06	流通・消費と環境共生	地理学などの研究事例を用いながら様々な地域に存在する多様な資源が、複雑な・多岐に渡る地域や関係者、システムを通して流通、消費、普及する様に注目し、その過程や構造と、そこで取り組まれている工夫や残されている課題を考察することができるようになる。	流通・消費、地理学、資源の特性・管理、フードシステム、消費倫理、持続可能性	2	2年	○	◎		○	○		
35E07	農村戦略論	わが国の環境保全の将来について考える。前半は環境の変化と環境保全について概観し、後半は山間地にしほり、活性化や無居住化する際の環境保全について考える。	環境保全、山間地、活性化、無居住化	2	2年		○	○		◎		
35E08	コモンズ論	自然資源を主な対象として、コモンズと地域社会との間わりの実態や、その持続可能な管理に向けた制度設計について理解できるようになる。	コモンズの悲劇、制度設計、社会一生態システム	1	2年		◎	○		○		
35E09	住環境計画	近代化の過程における日本・欧米の住環境計画の理念・実践の潮流を学び、これからの住まいとまちづくりを考えるうえで必要な視点を学ぶ。また、アジア・アフリカなど異なる地域との共通点や相違点を理解し、複数の視点から住環境の在り方を捉えられるようになる。	建築計画、近代都市計画、集落、住環境改善、アジア・アフリカ	1	2年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○

地域創造学類カリキュラムマップ(地域マネジメントプログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。	
地域マネジメントプログラムの学習成果		
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。	
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝公共社会、地域活性化
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝市民自治、地域居住、地域産業・文化・経済、生活基盤
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝地域協働
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。
④ 関心・意欲	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。	
⑤ 態度	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。	
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。	

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	知識・理解		学習成果		思考・判断	関心・意欲	態度
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法			
35E10	パブリックスペース論	観光対象としての地域空間・都市空間を捉え、そこでの豊かな体験を生み出す空間としてのパブリックスペースのあり方と、そのデザイン手法について学ぶ。	パブリックスペース、都市デザイン、プレイスメイキング	1	3年	◎	◎	◎		○	◎	
35E11	社会システム論	システム論の基本的な概念や理論を学んだうえで、社会科学において発展した社会システム論の展開を追い、社会を分析するための有用な道具として、社会システム論の思考方法を身につけることを目的とする。	システム論、社会システム、行為と構造、自己組織性	1	2年	○	◎		◎		◎	
35E12	社会システム論研究	社会科学において発展した社会システム論の展開を追い、最新の動向について学び、社会システム論の思考方法を身につけたうえで、社会システム論によって現実社会を分析することを試みる。	システム論、社会システム、行為と構造、オートポイエーシス	1	2年	○	◎		◎		◎	
35E13	マーケティング・マネジメント論	マーケティング(市場)での立場による違いを把握し、マーケティングの基礎理論と地域に根ざした運営上の課題を理解する。	モノ・サービスマネジメント、顧客満足、スポンサーシップ	1	2年		○	◎		○	○	○
35E14	健康フィットネス論	生活者の健康に関する意識と健康情報の収集状況から、健康フィットネス産業の現状と健康ビジネスの現代的課題を理解する。	健康マーケティング、フィットネス産業、健康評価	1	2年	○	○	◎		○	○	○
35E15	地域福祉共治論	・地域福祉に関する財政を含む行政・ガバナンスの理論・仕組み・実際を学ぶ。 ・地域福祉計画に関する理念・規範の抽象的内容、並びに内容・立案・策定・実施・評価方法(住民参加を含む)などの具体的内容を学ぶ。	地域福祉、行政、財政、ガバナンス、地域福祉計画	2	2年		◎		◎	○	○	
35E16	地域社会とジェンダーⅠ	地域における様々な活動におけるジェンダーの作用を理解し、社会的排除の解決についてジェンダーの視点から検討することができる。	ジェンダー、社会的排除、共生	1	2年		◎			◎	○	
35E17	地域社会とジェンダーⅡ	家族のケアを行う人々の現状と課題を理解し、地域社会におけるジェンダー平等と多様性のあり方について検討することができる。	ジェンダー、ケア、多様性	1	2年		◎			◎	○	
35E18	地域社会学	地域コミュニティの実態について、内外の地域社会学理論から学習することとおして、自分自身の身近な問題として考え、地域コミュニティに生きる生活主体としての視点を養うことができる。	地域コミュニティ、まちづくり、地域集団、都市-農村、ソーシャル・キャピタル	1	2年	◎	◎			○	○	○
35E19	観光社会学	社会学理論や概念を用い、観光現象を所与のものとしてではなく、社会的に構築され制度化されたものとして批判的に検討することができる。	ツーリズム・モビリティーズ、観光とメディア、観光とジェンダー、観光と再帰性	1	3年	◎	◎			○	○	○

地域創造学類カリキュラムマップ(地域マネジメントプログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
地域マネジメントプログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。		
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝公共社会、地域活性化	
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝市民自治、地域居住、地域産業・文化・経済、生活基盤	
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝地域協働	
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネート能力を身につけている。	
	思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。	
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。		
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。		

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多角的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	知識・理解		学習成果 技能・表現					
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35E20	北陸観光産業論	今後需要の伸びが期待できるインバウンドビジネスを含む観光全般について、現状把握と今後の展望等、基本的な知識とその可能性を学習する。	観光, 地域ビジネス, 北陸, 金沢	1	2年		◎	◎			◎		
35E21	持続的な観光	健全な観光とは何かを考え、訪問地の住民、来訪者、観光業者、観光資源がそれぞれの質を損なうことなく持続的に関わることができる方法を提案できる。	Sustainability, visitor experiences, resource conservation, responsible tourism, ethical tourism	1	3年	◎	◎			○	◎	○	○
35E22	ローカルコモンズ論	ローカル・コモンズの創生の具体的な事例を学ぶことを通じて、地域資源の保全と活用の循環をマネジメントする方法論と理論を習得する。	ローカル・コモンズ, 地域資源, マネジメント	1	2年	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	
35E23	自然観光論	自然観光の基礎知識や理論、自然を観光資源として賢明に活用できる基本的知識を身につける。	エコツーリズム, 保全と利用, 観光ガバナンス	1	2年	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	
35E24	観光開発・計画論	観光地としての魅力を高めるために、これまでの観光開発の歴史の変遷を整理した上で、観光開発の未来を語っていくことは不可欠である。本科目では、関係人口を創出し、都市・農村間の補完関係を担保していくといった観点から観光開発の計画論について論じる。	観光開発, 持続可能性, 地域資源, 観光資源	1	2年	○	◎	◎			◎	◎	○
35E25	都市計画	・都市計画の基本的考え方を理解し、主要な専門用語を説明できる。 ・都市と都市計画の歴史を理解し、都市づくりにおける都市計画の役割を説明できる。	都市問題, まちづくり, 住民参加	1	3年	◎	○			○		○	
35E26	計画プロセス	・都市を対象とする各分野の計画の方法や手法を理解し、説明できる。 ・主要な都市計画先進国および日本の計画制度を理解し、説明できる。	都市問題, まちづくり, 住民参加	1	3年	◎	○			○		○	

開講されるクォーターは、年度ごとに公表される授業時間割表を参照してください。